

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自己有用感をもち、自分の言葉で表現し進んで行動する子を育てます 人とのかかわりを大切にし、まちを愛する心を育てます 「学習が分かる、楽しい」と実感できる授業づくり、考える力・学び合う力を高める授業づくりを推進します

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	① 各学年の児童がそれぞれの役割を自覚して自分の役目を果たそうとする姿を目指し、たてわり活動や異学年交流を一層推進する。 ② 礼儀や規律を大切にし、友達を思いやる行動ができるように、児童一人ひとりが主体的に自己を見つめ、よりよい生き方を考え議論する道徳科の授業を充実させる。そのため、教職員研修を行うとともに、授業参観等で保護者に道徳科の授業を公開する。
担当	特活部・道徳部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

たてわり活動の実践を積み重ねてきたことで、日頃から上級生が下級生を思いやる気持ちが育まれている。一方で、身近な友達の思いを汲み取ることが苦手な児童もいる。また、素直に物事を受け入れることができる反面、主体的に自己を見つめ、自分の考えを表現することに課題がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【 道徳を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育 】

- あらゆる教科の授業や学校生活の中で、道徳的实践ができるよう指導する
- 教職員研修を行うとともに、議論する道徳科の授業を、授業参観等で保護者に公開する
- 児童につかませたい道徳的価値と児童の実態を的確にとらえて、記述による評価をし、3学期に保護者に伝え共有する

【 児童会活動について 】

1 たてわり活動

ねらい

- ・異学年との交流を通して、友達関係を広げたり深めたりして、相手を思いやる気持ちを育てる。
- ・異学年で力を合わせて活動する楽しさを味わい、自分にできそうなことは積極的に行っていこうとする力を育てる。

【具体的な姿】

低学年	・めあてをもって活動する。	・仲良く協力して活動する。
中学年	・めあてを考えて活動する。 ・上級生に協力して活動する。 ・自分の役割を考えて活動する。	・下級生にやさしく接しながら活動する。 ・自分の考えを進んで伝えながら活動する。
高学年	・めあてを大切にして計画を立て、活動する。 ・リーダーとして全体のことを考えて活動する。 ・下級生の思いを大切にしながら活動する。 ・自分の考えを積極的に伝え、よりよく活動を進めていく。	

年間計画

6月	一年生を迎える週間 各学年が作ったプレゼントを渡す。
10月	地域清掃
11/13	全校遠足(こどもの国) 全学年が役割をもち活動をする。
年三回	たてわり給食
月一回	集会
または月二回	たてわり班で取り組めるものを行う。
	学習発表や交流

1年生：遠足の歌づくり
2年生：たてわり班のストラップづくり
3年生：オリエンテーリングの
ポイントカードづくり
4年生：「みんなで遊ぼう」計画・運営
5年生・6年生
しおりづくり・タイムテーブル作成

たてわり活動で使うたてわり班の旗は、5年生が中心となって作成。

年間を通して、たてわり班を生かした活動を行っていく。活動を通して、一人ひとりがグループの一員として思いをもって活動に取り組み、自己有用感を高めていく。たてわり活動を積み重ねていくことで、子どもたち一人ひとりが自分の役割を自覚し、自発的・自治的に行動する力を育てていくことができる。

2 児童会スローガン

代表委員会で決定する。

昨年度は、『みんなで協力 やさしさあふれる かつこいい鴨一小』というスローガンに向かって、たてわりや委員会の活動、学年やクラスの様々な活動に取り組んできた。今年度も、よりよい鴨一小を目指して、工夫をしながら取り組んでいく。